

# 長野県革新懇ニュース

2020年2月号  
発行日2月10日  
会費 2,000円  
購読料 3,000円(送料込)  
振替 00510-3-15971

249

発行 日本と信州の明日をひらく県民懇話会  
(長野県革新懇) 発行人：山口光昭 編集長：高村裕  
〒380-8790 長野市県町593 高校教育会館内  
TEL: 026-234-1231 FAX: 026-234-2219 メール: mail@nagano-kakushinkon.com

====今号の主な記事====

- 1面 河西さん、聲山さんインタビュー
- 2面 1面続き、「近現代信州の歴史回廊」桂木恵さん
- 3面 「前川喜平講演会、飯山に700名超集う」遠山茂治さん  
「憲法9条を守り抜くために」古川多磨夫さん  
読者の声、漢字パズル
- 4面 「雨よ降れ」「世間の評判」窪島誠一郎さん  
「写真で辿る信州と戦争」北原高子さん  
映画評論「家族を想うとき」内山到さん

長野県革新懇

検索



ソウル市内にある景福宮にて。左が河西さん：1970年、松本市生まれ。右が聲山さん：1981年、長野市生まれ。お二人とも長野高教組職員。

## 正しい歴史認識こそが

## 日韓関係構築の礎

河西綾さん & 聲山佐和さん

(団体職員)

日本人に対して怒っているわけじゃない

Q 今回の韓国ツアーの概要と全体的な感想を聞かせて下さい

◆聲山 今回のツアーは「日韓市民連帯を開く旅」というタイトルで、日韓の市民レベルの交流を促進し、友好を深める目的で行われたもので、1月16日から19日までの3泊4日の日程でした。主催は長野県AALA(アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会)で、私も関心があったのでお仲間に加えてもらいました。総勢15名で県下各地からの参加でした。年齢層は60〜80代が13名で、30代、40代は私と河西さんの2名でした。(左のツアー日程参照)

で行ってききましたが、帰国してから、韓国で見学した施設や懇談でいただいた資料や、買った本を読みなおすと、書いてある内容がすごく自分の中に入ってくるように感じました。あと、明洞という繁華街に行く時間があつたのですが、店員さんが流暢な日本語で話しかけてきて、商品の説明をしてくれたことにとても驚きました。実は、出発前に知人から気を付けるよう言われていたんです。しかし、メディアで報道されているような、危険なことは一切なかったし、意地悪をされることも全くありませんでした。危険だとは思っていません。

### 少女像の横で 学生が見守り

Q 交流が中心だったんですか？

◆河西 今回の旅で一番問題だと思つたのは、自分も含めて日本人は、日本と韓国の歴史を知らなすぎる、あるいは認識が間違っているということ。なぜここまで知らないで、あるいは知らないふりをしてこられたのかということ。正しい歴史認識がないから反韓・嫌韓をおおる不当な韓国非難に踊らされる、操作されるんだという憤りに近いものを感じました。

◆河西 史跡の景福宮や歴史的街並みなども訪れましたが、「ナムの家」や「参与連帯」、「民族問題研究所」でお話を聞いて懇談したり、さまざま博物館等の見学が中心でした。ツアーガイドの李善姫さんという方が、日本語が堪能で、非常によく勉強されているので、その解説も大変参考になりました。李

### 家族ぐるみで 歴史施設を見学

Q 各地を訪れて印象に残ったことはありますか？

◆聲山 キャンドル革命の中心となった「参与連帯」の人から話を聞いたのですが、人を集めるときもSNSを上手に使い、歌手などを呼んで歌ってもらうなどして、「楽しくやろう」という思いでやっていたらしいです。ツアーのガイドさんも「キャンドル革命はお祭りみたいで楽しかった」と話していました。

### 安倍政権を変えてほしい

Q 元日本軍「慰安婦」の話を聞かれたのですが・・・？

◆聲山 「ナムの家」では存命の方はお二人のことでしたが、幸いにもお一人のハルモニが、幸いにもお一人のハルモニからお話を聞くことができました。そのハルモニが開口一番、「安倍を辞めさせられない日本はダメだ」ということを言ってくれました。自分が当時何をされたかということをお話するよりも先に、安倍を変えないとダメだ、変えられないあなた達は何をし

◆河西 「ナムの家」のハルモニは、「私たちは安倍政権に対して怒っている」「日本人は、安倍政権を変えるために頑張つてほしい」と仰ったんですね。「ナムの家」でハルモニたちを支援して共同生活をしている日本人スタッフの矢嶋幸さんも「日本人は、日本という国の主権者として、現政権を放置していることや、歴史問題に対してあまりに関心であることに對して、きちんと考えてほしい」と仰っていました。元日本軍「慰安婦」の女性たちは、社会的圧

### 韓国ツアーの日程 (11月16～19日)

- 16日午後 ソウル着  
タブコル公園
- 17日午前 ナムの家  
午後 西大門刑務所跡  
大韓民国歴史博物館
- 18日午前 景福宮、光化門、同広場  
日本大使館前少女像  
午後 歴史的街並み散策  
「参与連帯」懇談
- 19日午前 「民族問題研究所」懇談  
植民地歴史博物館  
夜 羽田着

「参与連帯」の人たちの工夫ももちろんあったのだらうけれど、今回韓国の歴史博物館や西大門刑務所跡へ行った時に見た子どもたちが見学に来ているという風景も関係しているのかなと思いました。私たちが見学した日は休日だったので、韓国の小学生数人と大人一人というグループで見学に来ていて、そういったグループが1

【2面に続く】